



2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月2日

上場会社名 ウェルネット株式会社
コード番号 2428 URL <https://www.wellnet.co.jp>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮澤 一洋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 五十嵐 達哉

TEL 011-350-7770

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	4,897	0.5	563	0.2	564	0.4	385	13.4
2023年6月期第2四半期	4,920	10.5	562	46.2	561	45.3	444	57.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	20.39	20.26
2023年6月期第2四半期	23.58	23.37

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第2四半期	27,164	7,917	28.8	414.01
2023年6月期	24,892	7,826	31.1	410.38

(参考)自己資本 2024年6月期第2四半期 7,825百万円 2023年6月期 7,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		16.84	16.84
2024年6月期		0.00			
2024年6月期(予想)				21.00	21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,160	7.8	1,150	22.9	790	24.3	41.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	19,400,000 株	2023年6月期	19,400,000 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	518,390 株	2023年6月期	525,475 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	18,881,610 株	2023年6月期2Q	18,858,254 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき合理的であると判断する一定の前提より作成したものであり、実際の業績及び配当は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 経営成績に関する分析

当第2四半期累計期間(2023年7月1日から2023年12月31日まで)におけるわが国経済は、不安定な国際情勢、不信感が高まる国内政治情勢、資源価格及び光熱費高騰などにより、行く先不透明な状況が続いております。一方、新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響は、ほぼ解消いたしました。

このような状況のなか、当社の主要事業ドメイン市場においても、航空、バス、鉄道など交通関連事業においては回復傾向にあります。また、様々な業種業態において、DX(デジタルトランスフォーメーション)が積極推進されており、ITが果たすべき社会的役割も増してきております。

当社においても、「ペーパーレス化」「キャッシュレス化」をキーワードに、重点施策「電子決済時代への対応」「交通業界向けIT化プロジェクト/MaaS事業」などを推進、その文脈上にある生活密着フィンテック・プラットフォームを見据えた施策を行っており、会員管理のDX化ツール「ekaiin.com(e会員ドットコム)」の利用拡大や電子請求書発行及び保存を行う新サービス「しまえーる」の提供など、「決済+αプラットフォーム拡大」に注力しております。

「決済+αプラットフォーム」における「ekaiin.com」は、利用者数は堅調に推移しているものの令和4年度札幌市飲食店の未来応援クラウドファンディングの支援金募集案件獲得の反動で、前年より売上が減少しておりますが、「お寺向けekaiin申込みサイト」を新たに開設するなど、DX化が見込まれる分野へのアプローチを開始しております。

「しまえーる」についてはインボイス制度、電子帳簿保存法の改正に伴う大口案件を受注しており、更なる顧客獲得へ向け営業活動を推進しております。

上記のサービスのほか開発・プラットフォーム提供拡大を推進しておりました「交通事業者向けオールインワンクラウドサービス」につきましては、スルッとKANSAIのQRコードを利用するデジタル乗車券サービスの名称が「スルッとQRtto(クルット)」に決定、今年6月にサービス開始予定が発表されるなど、いよいよ本格的な展開時期を迎えます。一方もう一つの大規模開発「電子マネー」につきましても、各企業が自社マネーとして利用できるシステム改修を行う等引続き次世代を見越したサービス展開の準備を行っております。今後プロジェクトが大規模化することなどが予想されるため、営業体制強化を急いでおり、札幌、東京、大阪の3拠点体制を確立、より地域に密着した本格的な営業活動への準備を整えております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高4,897百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益563百万円(前年同期比0.2%増)、経常利益564百万円(前年同期比0.4%増)、四半期純利益385百万円(前年同期比13.4%減)となりました。前年同期比で売上高は僅かに減少したものの、付加価値の高い商材の販売が増加したことにより、営業利益及び経常利益は増加しております。なお、四半期純利益が減少しておりますが、その主な要因は、前期は特別利益として補助金収入88百万円が計上されていたためであります。

なお、当社は事業活動の社会的意義の向上、会社企業価値の拡大を目指すためには、東京証券取引所のプライム市場維持のためにリソースを投入するより、限られた経営資源を事業の進展と拡大に集中することの方がより企業価値の向上に寄与できると判断し、2023年10月20日よりスタンダード市場に移行いたしました。

② 当社を取り巻く環境変化と対応戦略

当社が事業ドメインとするオンライン決済市場については今後も一定の伸長を見込んでおりますが、電子決済拡大による決済自体のコモディティ化が進むとみており、決済+αの具体的な形として、事業者側のDX化を支援するクラウドサービスの拡充に尽力しております。

A. ペーパーレス化・キャッシュレス化における「スマホ決済」「支払秘書」・電子マネー対応

決済を銀行口座と連携するスマホで行う「支払秘書」は、8電力会社に導入済、また公金支払いでも提携銀行が多い地域を中心に「支払秘書」で支払える案件が増加しているほか、当社が提供するクラウドサービスである下記B項記載の「バスもり!」、「アルタイルトリプルスター」及び「ekaiin.com」とのシームレスな連携を中心とした展開を行うとともに、電子マネーを自社のサービスに組み込む流れが今後出てくると予測し、組み込み型電子マネーの開発を進めております。今後は交通事業者向けのクラウドサービスと連携させたトータルサービスへ進化させるべく、営業活動を行ってまいります。

B. 交通事業者向けIT化プロジェクトを積極推進

2016年8月に開始したスマホ電子チケットアプリ「バスもり!」は、1回券、回数券、定期券、フリーパス、企画券など電子化券種を拡大し、バス・鉄道の取り扱い路線は628を超えております。コロナ禍を経て、非対面で購入できるスマホ定期やスマホ回数券は拡大しております。また、2017年から開発してきたオールインワンの交通事業者向けクラウドサービス「アルタイルトリプルスター」は、乗物やイベントの在庫・時刻表管理、チケ

ット予約・購入・発券・認証、そして売上情報の集計と精算処理に至るまでの一連の業務の自動化を実現できるトータルクラウドサービスで、全国各地のMaaS基盤および、交通系各社様のDX化支援の有効ツールとしてその利用が拡大しております。複数事業者が共同提供するMaaSにおいて、多大な労力を要する精算業務に関する十分な知識と経験を当社が持っていることは大きなアドバンテージです。

C. ウェルネットの“主力決済商材”「マルチペイメントサービス」「送金サービス」の現況

非対面決済用プラットフォームである「マルチペイメントサービス・送金サービス」は引き続き伸長するポテンシャルがあると見込んでおります。当社は、30年以上にわたり様々な事業者に決済サービスを採用いただいておりますが、今後も事業者・コンシューマ双方の利便性向上に資する決済ゲートウェイの拡充を目指します。当社は決済+αのサービス開発を推進してまいります。その際決済基盤を持っている当社は大きなアドバンテージを持っていると考えております。

2022年9月には当社が新たに開発したスマホバーコード決済「starp」がファミリーマートの全国の店舗で採用され、利用者はスマートフォンに表示されるバーコードを店頭レジで直接読み取るのみでリアルタイム支払いができるようになり利便性が向上、利用者が着実に増加しております。今後、ファミリーマート以外のコンビニでの採用に向け、積極的に営業活動を進めてまいります。

D. 地域貢献活動

当社のビジネスである「IT利活用・DX化」そのものが、環境に優しいビジネスモデルへの転換を支援するものであり、ビジネス拡充自体が地球環境保全に資するものと認識しております。

地域社会への貢献として、北海道の工業高等専門学校に通う経済面で苦勞する学生向けに設立した“ウェルネット奨学金”により多くの学生を支援しております。2022年度までの累計で768名に対して約86百万円の奨学金を支給しており、ここ3年間は経済的困窮による退学者0に直接的に貢献しております。本活動は今後も継続してまいります。

さらに、地元のスポーツ振興に寄与することを目的とし、北海道オール・オリンピックズが推進する「スクラム札幌」構想へ参画、男子1000メートルの日本記録を持ち、オリンピック出場が期待されるスピードスケートの山田将矢選手と2022年4月にスポンサー契約を締結、2023年4月からは当社社員として活動しております。2023年11月帯広市明治十勝オーバルで開催された「ISU World Cup Speed Skating2023/2024 Obihiro, Japan」の「男子1000m、1500m」において金メダルを獲得、日本人初の快挙を達成いたしました。今後は「ekaiin.com」をスポーツ選手の支援にも積極活用し、当社のITサービスによるスポーツ振興を支援する方針であります。

また、2021年に竣工し、運用開始した札幌本社新社屋は、働く環境や従業員の健康に配慮したオフィス設計を行っており、2022年9月に「WELL認証」最高ランク「プラチナ」を取得いたしました。「WELL認証」は2014年に米国で始まったビルやオフィスなどの空間を人間の健康の視点で評価・認証する先進的な取り組みであります。さらに、札幌本社は2023年8月に創意と工夫を凝らしたオフィスを表彰する制度である「第36回日経ニューオフィス賞」を受賞いたしました。これらの取り組みは、人的資本である従業員への投資であり、ひいては生産性向上、働き方改革など企業価値向上につながると考えております。

E. 収益予想と株主還元

収益予想につきましては、2023年8月14日付の「2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の「2024年6月期の業績予想」で公表いたしました収益予想から変更ありません。なお、配当性向については50%以上とする予定です。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は27,164百万円となりました。流動資産は21,618百万円であり、主な内訳は現金及び預金16,654百万円です。現金及び預金には回収代行業務に係る収納代行預り金が12,479百万円含まれておりますが、これは翌月の所定期日には事業者に送金されるものであり、一時的に当社が保管するものであります。固定資産は5,545百万円であり、内訳は有形固定資産3,834百万円、無形固定資産367百万円、投資その他の資産1,343百万円です。

一方、負債合計は19,247百万円となりました。主な内訳は収納代行預り金12,479百万円です。

純資産合計は7,917百万円となりました。主な内訳は株主資本7,820百万円です。

(参考) 現金及び預金の純額 (回収代行業務に関する預り金を相殺した、正味の現預金残高)

	前事業年度末 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間末 (2023年12月31日)
(A) 現金及び預金 (百万円)	14,070	16,654
(B) 収納代行預り金 (百万円)	10,441	12,479
(A)-(B) 現金及び預金純額 (百万円)	3,629	4,175

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物 (以下、資金という) の残高は16,654百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は2,550百万円となりました。主な増加要因は収納代行預り金の増加2,038百万円ですが、収納代行預り金は翌月の所定期日には事業者に送金されるものであり、一時的に当社が保管するものであります。収納代行預り金の増加分を除いたその他の営業活動により獲得した資金は512百万円であり、主な増加要因は税引前四半期純利益564百万円の計上によるものであります。

(参考) 収納代行預り金の増減を調整した営業活動によるキャッシュ・フロー

	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
(A) 営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,550
(B) 収納代行預り金の増減 (△は減少) (百万円)	2,038
(A)-(B) 調整後の営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	512

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は375百万円となりました。主な増加要因は敷金及び保証金の返還による収入510百万円、主な減少要因は投資有価証券の取得による支出101百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は341百万円となりました。主な減少要因は配当金の支払額316百万円です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月14日付の「2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,070,800	16,654,813
売掛金及び契約資産	604,434	739,962
商品	3,532	3,722
仕掛品	1,313	-
貯蔵品	898	1,135
前払費用	44,513	43,566
預け金	3,449,042	3,471,452
その他	581,691	704,167
流動資産合計	18,756,227	21,618,821
固定資産		
有形固定資産	3,888,345	3,834,861
無形固定資産	444,212	367,889
投資その他の資産	1,803,621	1,343,172
固定資産合計	6,136,180	5,545,922
資産合計	24,892,407	27,164,744
負債の部		
流動負債		
買掛金	440,937	520,032
預り金	3,584,744	3,729,482
1年内返済予定の長期借入金	75,000	100,000
収納代行預り金	10,441,061	12,479,275
未払法人税等	223,285	189,237
賞与引当金	20,697	18,352
ポイント引当金	16	839
その他	319,833	290,961
流動負債合計	15,105,577	17,328,181
固定負債		
長期借入金	1,725,000	1,675,000
株式給付引当金	77,221	82,105
資産除去債務	13,432	15,879
長期未払金	119,007	119,007
その他	25,222	27,219
固定負債合計	1,959,883	1,919,211
負債合計	17,065,461	19,247,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	667,782	667,782
資本剰余金	3,509,216	3,509,216
利益剰余金	4,264,341	4,314,720
自己株式	△703,349	△671,117
株主資本合計	7,737,990	7,820,601
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,791	4,913
評価・換算差額等合計	7,791	4,913
新株予約権	81,164	91,835
純資産合計	7,826,946	7,917,350
負債純資産合計	24,892,407	27,164,744

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,920,399	4,897,559
売上原価	3,939,107	3,881,393
売上総利益	981,292	1,016,165
販売費及び一般管理費	418,490	452,294
営業利益	562,802	563,871
営業外収益		
受取利息	526	26
為替差益	1,508	-
未払配当金除斥益	1,164	437
受取賃貸料	625	300
その他	1,237	1,492
営業外収益合計	5,062	2,256
営業外費用		
支払利息	1,903	1,802
新株予約権発行費	2,570	-
投資事業組合運用損	1,560	199
営業外費用合計	6,033	2,002
経常利益	561,831	564,125
特別利益		
新株予約権戻入益	756	60
補助金収入	88,399	-
特別利益合計	89,155	60
税引前四半期純利益	650,987	564,185
法人税、住民税及び事業税	206,856	168,262
法人税等調整額	△492	10,892
法人税等合計	206,363	179,154
四半期純利益	444,623	385,030

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	650,987	564,185
新株予約権戻入益	△756	△60
減価償却費	199,680	164,523
受取利息及び受取配当金	△526	△50
支払利息	1,903	1,802
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,560	199
売上債権の増減額 (△は増加)	△151,021	△135,527
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△338	885
仕入債務の増減額 (△は減少)	64,535	79,095
預け金の増減額 (△は増加)	648	△22,410
預り金の増減額 (△は減少)	107,309	144,737
収納代行預り金の増減額 (△は減少)	4,920,314	2,038,213
その他	△258,456	△83,140
小計	5,535,838	2,752,454
利息及び配当金の受取額	8,022	50
利息の支払額	△986	△914
法人税等の支払額	△139,322	△201,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,403,551	2,550,489
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	80,021	-
有形固定資産の取得による支出	△3,239	△12,183
無形固定資産の取得による支出	△52,634	△25,208
有形固定資産の売却による収入	251,561	-
投資有価証券の償還による収入	200,000	-
投資有価証券の取得による支出	-	△101,388
出資金の分配による収入	5,000	7,000
敷金及び保証金の差入による支出	△36,187	△3,137
敷金及び保証金の回収による収入	-	510,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	444,523	375,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	5,400	-
長期借入金の返済による支出	△25,000	△25,000
配当金の支払額	△266,387	△316,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285,987	△341,879
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,562,087	2,584,013
現金及び現金同等物の期首残高	13,049,269	14,070,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,611,356	16,654,813

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。